

News & Information

2010/6/21

[EIP 杵・MH 杵が製剤機械技術研究会誌で紹介されました]

当社 100%出資子会社株式会社マシンパーツ販売が手掛ける当社グループの EIP 事業につきまして、主力商品である EIP 杵および MH 杵が、医薬品製剤の製造に関する著名な専門団体である製剤機械技術研究会の会誌（第 69 号 Vol.19 No.2 (2010)）に掲載されましたのでお知らせいたします。

当社グループの EIP 事業では、主に医薬品製剤を錠剤として成型する打錠と呼ばれる工程に用いる金属部品である打錠杵を販売しております。その中でも主力商品である、EIP 杵および MH 杵は、独自の金属表面改質化技術を用いて打錠面に合金層を形成し、製剤打錠時に発生するスティッキング（※）と呼ばれる障害に優れた防止効果を持つ打錠杵です。この度は、EIP 杵・MH 杵のスティッキングに対する防止効果を実験に基づくデータによって検証し、その特徴をまとめた論文が掲載されたものです。

従来からスティッキングは、製剤処方工夫によって解決が図られてきました。それ以外には打錠杵表面へのメッキ・コーティング加工等で対応してきましたが、防止効果が不十分であるほか、メッキ・コーティングの剥離等のリスクを内包しておりました。

これに対し、当社の EIP 杵および MH 杵は、打錠面の合金化により製造されるため、剥離リスクが無いことに加え、製剤粉末との相性に合わせた製造が可能であることから、様々な製剤に最適化された杵を選択することが可能です。

また、欧米においては、メッキ処理に用いられる六価クロムの使用が環境保護の観点から制限されております。メッキ・コーティング処理を必要とせず、打錠面の再処理によってリユースにも対応可能な EIP 杵・MH 杵は、環境リスクへの対応策としても有効な杵であります。

当社グループでは、今後とも EIP 事業に注力し、創薬事業とならぶビジネスの柱として育成・発展を図って参る所存です。

※スティッキング

杵の打錠面に製剤粉末が付着し、正常な成型を妨げる障害。多くは、製剤処方時にステアリン酸マグネシウムに代表される滑沢剤と呼ばれる物質を配合することで解決が図られる。

(ご参考)

株式会社マシンパーツ販売

<http://mp-m.co.jp/>

製剤機械技術研究会WEBサイト

<http://www.seikiken.or.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マシンパーツ販売

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング3階

TEL : 03-6809-1621 / FAX : 03-6809-1629

E-mail : info@mp-m.co.jp 担当 : 鈴木・関根・丹治 (タンジ)